

「隠岐の島町スポーツ推進計画(案)」に対する意見と教育委員会の考え方

【意見募集期間】 令和3年1月28日(木)～令和3年2月25日(木)

【意見提出者数】 5名

番号	該当 ページ	ご意見の内容	教育委員会の考え方(策定委員会の考えかた)
1	表紙	計画の名称について 「スポーツ推進計画」を「生涯スポーツ推進計画」に改めることを提案します。 理由・・・町の総合振興計画、教育大綱、教育の方針と事業を読み取る限り「生涯スポーツの理念」がしっかり位置付けられていますので、少なくともその底辺を流れる理念の整合性を図るべきとこの計画書の基本理念にも「生涯スポーツ」と明記している。 またサブタイトルにも「いつまでも」と謳ってありますので。 それと、単に「スポーツ」と書くと、競技スポーツのニュアンスに限定されるように感じます。	ご提案いただいた内容を踏まえたうえで、 隠岐の島町総合振興計画、教育大綱等の計画にて生涯スポーツの理念がありますので、「隠岐の島町生涯スポーツ推進計画」とします。
2	表紙	「第1期」について 本町が策定する諸計画は、概ね「第1次」というように「次」で表現していましたが、この「期」を用いることの意義が判りません。今後はあらゆる計画の表記をこのように「期」をもちいる、と言うことでしょうか？それとも単純に、島根県の計画の名称を真似ただけでしょうか？	ご提案いただきました内容を踏まえたうえで、今回の計画は「第1期」の表記はしないこととさせていただきます。
3	表紙	サブタイトル「だれもが、いつでも、いつまでも」について 「どこでも」を加えるべきだと思います。スポーツが体育関連施設のみではなく家庭、社会、学校、職域等、あらゆるエリアで展開されることは、生涯スポーツの振興上、欠かせないアイテムだと思いますし、「教育大綱」にも、そのことがきちんと明記されているはずです。	ご提案いただきました内容を踏まえたうえで、基本目標を「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも、スポーツに親しめる健康的な日常をおくろう」にします。
4	表紙	『だれもが、いつでも、いつまでも、スポーツとともに健康的な日常をつくろう』(基本目標)について、 検討していただきたい。 『だれもが、いつでも、いつまでも、～な日常が送れるように』 『だれもが、いつでも、いつまでも、スポーツに親しめる健康的な日常をつくろう』	ご提案いただきました内容を踏まえたうえで、基本目標を「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも、スポーツに親しめる健康的な日常をおくろう」にします。

番号	該当 ページ	ご意見の内容	教育委員会の考え方(策定委員会の考えかた)
5	表紙	スポーツの定義について この計画を読むと、スポーツ、軽スポーツ、生涯スポーツ、健康スポーツ 競技スポーツ、運動、体育、遊戯、遊び、様々な同義語らしき言葉が出てき ます。この計画書の中での「スポーツ」という単語のカテゴリーを整理する 必要があると思いますが、いかがでしょうか？	ご提案いただきました内容を踏まえたうえで、現状のままとします。
6	2	推進計画策定の趣旨について 計画策定の背景に関する記述が欠落していると感じました。なぜ今、いき なり降って湧いたように計画策定か？そのように感じます。計画策定の背 景、必要性、意義等をしっかり明記してこそ、策定の目的が明確になると思 います。 従ってここでは、見出しを単に「策定の趣旨」ではなく「策定の背景と意義」 とすべきと思います。	ご提案いただきました内容を踏まえたうえで、「策定の趣旨」を修正させていただきます。
7	2	文章の書き方(枝葉末節のことですが)について ①「・」が4項目ありますが、それぞれが順不同で、いわゆる「起承転結」の 文書作成の基本形ができていません。もっとも大事な、策定するに到った 背景、そして、策定することの意義・・・策定されたら、何がどうなるか？が 明確に記述されていません。(それに、4項目に分けて書く必要性がありま すでしょうか？) ②「策定をすすめ・・・」この主語がありません、何を策定？？ 上位計画等の中に、肝心の「教育大綱」や「生涯学習計画」、「社会教育計 画」の記載がありません。 ③「豊かな人間性」・・・「豊かな人間性の確立」とすべきです 「礎であり」・・・「礎であります。」(文章を一旦切るべき、と・・・) 「たくましく生きるための、健康」・・・「」は不要です。 「スポーツが、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成にも貢献することを (理解したうえで)認識した上で、(スポーツを)推進していく必要があります 。」・・・というようにされたらどうですか？ ④「事業の期間、事業内容を」・・・「計画の期間とその内容を」 (この計画書には、事業は明示されておりませんので・・・) ⑤「スポーツ推進を、」・・・「生涯スポーツを、」 (「推進」は不要です。(「推進」を進める・・というのは変？です)	①文章の書き方については、ご提案いただきました内容を踏まえたうえで、修正させ ていただきます。 ②、③、④、⑤ ご提案いただきました内容を踏まえたうえで、修正させていただきます。

番号	該当 ページ	ご意見の内容	教育委員会の考え方(策定委員会の考えかた)
8	2	推進計画の性格と位置付けについて ①「基本的な推進方策をもとに」 P4を読む限りには、推進方策ではなく「推進方針」が正しいのでは？ ②「必要な施策の指針」 「必要な施策」はすでにP6以降に明示してありますので、「施策」はおかしい？「必要となる事業計画等」くらいが正しいのでは？ ③「施策の実施にあたっては」 「計画の推進にあたっては」が正しいのでは？ ④「実施計画を立案し」・・・「実施計画を策定し」が正しいのでは？？ ⑤「その施策の推進に」・・・「着実且つ効果的な推進に」が正しいのでは？ 「基」「礎」「もとに」・・・同義語が3種。統一できない？	ご提案いただきました内容を踏まえたうえで、修正させていただきます。
9	3	推進計画の期間について 5か年計画には意義はありませんが、この表の意味がよく理解できません。 この表は必要でしょうか？残すのであれば、むしろ「基本方針」や「具体的施策」の文言を記載すべきではないでしょうか？「なお」書きについて、なお、計画の着実な推進を図るため、毎年度末に施策の進捗状況を緻密に掌握し、その達成度について検証を行います。 を提案します。(因みに、審議会の役割の範疇には、こうした検証作業に携わることは含まれないと思います。)	ご提案いただきました内容を踏まえたうえで、表を削除し、修正させていただきます。
10	3	第Ⅳ章の文章内容について 「具体化」ではなく「具現化」が正しいのでは？と思います。 「体制について」ではなく「体系について」が正しいと思います。	4、推進計画の構成については削除させていただきます。

番号	該当ページ	ご意見の内容	教育委員会の考え方(策定委員会の考えかた)
11	3	推進計画の構成について まず最初は、現状の把握そして課題の明確化ではないでしょうか？ それらが詳細かつ正確に分析されてこそ、計画策定の基本理念、そして基本目標が明確化されるというのが、オーソドックスな道筋だと思います。 一番感じるのは、現状分析がかなり曖昧といえますか、ほとんどされていない、ということです。 以下、現状分析と課題の明確化に関する提案です。 第Ⅱ章 生涯スポーツの現状と課題 1. 生涯スポーツ(健康スポーツ)の現状と課題 ① 幼年期の現状と課題 ② 学齢期の現状と課題 ③ 青年期の現状と課題 ④ 成人期の現状と課題 ⑤ 高齢期の現状と課題 ⑥ 後期高齢期の現状と課題(長寿社会の視点で) ⑦ 家庭や職域におけるスポーツの現状と課題 2. 競技スポーツの現状と課題 ① 学齢期の現状と課題 ② 青年期の現状と課題 ③ 成人期の現状と課題 ④ 高齢期の現状と課題 3. スポーツ施設の現状と課題 最低限上記のような分析を行う必要があると思います。そのうえで、大事なことはどこが遅れているか、どこに問題が山積みしているか？そうしたことが正しく把握されてこそ、課題が明確に把握されてこそ、理念や目標が定まり、必要な施策が決まる…それがオーソドックスな策定の方法だと思いますが？ したがって、第Ⅱ章と第Ⅲ章は、一度バラバラに解きほぐして、全体の構想を組み替えるほうが、読み易いし、理に叶った計画構成になると思います。	ご提案いただきました内容を踏まえたうえで、構成について次のとおりとさせていただきます。 第Ⅱ章 推進計画の基本理念、目標 1. 基本理念 2. 基本目標 3. 基本方針 方針1 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備 方針2 健康で活力に満ちた長寿社会、ライフステージに応じた支援 方針3 競技スポーツの振興
12	5	4つの項目の「方針」の文面について それぞれの文章の文末が不統一です。ここは「方針」ですから「必要です」や「高めます」「取り組みます」はやめて「目指します」に統一したらどうでしょうか？	ご提案いただきました内容を踏まえたうえで、語尾を修正させていただきます。

番号	該当 ページ	ご意見の内容	教育委員会の考え方(策定委員会の考えかた)
13	4	障がいの有無に関係なく、だれもが、いつでも、	
14	6	高齢者や、障がい者の方にも積極的に呼びかけ、だれもが気軽に参加できる地域活動になるよう、「機会」と「場」の提供はもちろんのこと促進する環境と体制づくりが重要な課題です。 障がい者のスポーツ参加が重要な課題としていながら、具体的施策の中で対策については触れられていません。 第2次隠岐の島町総合振興計画において、基本施策「互いに認め合い、誰もが生きがいを持って活躍できるまちをつくります」の中で、主な取り組みとして「障がい者スポーツの推進」があげられています。 そうしたことも踏まえれば、何らかの記述が必要ではないでしょうか。	障がい者スポーツの推進を行ううえで、具体的施策を記載する必要があるため下記の内容をP12へ追記します。 ○障がいスポーツの振興 障がいの有無に関係なく、『だれもが』気軽に「スポーツ」と「運動」が実践できるように、軽スポーツを普及させるとともに、スポーツ推進委員を中心に、障がい者施設、高齢者施設を対象に訪問し、軽スポーツ・ニュースポーツの体験活動を行います。 例) 高齢者通所施設訪問等
15	5	「方針2」と「方針4」について この二つの方針は、違和感を感じました。充分なる現状分析や課題設定の作業を怠って方針を定めてしまった感じがあります。「先の方針ありき」の感を強くしました。どういった現状を掌握し、どういった課題が明確になり、こうした方針がでてくるのでしょうか？	国が示す「スポーツ推進の基本方針を総合的かつ計画的に取り組むべき施策」を踏まえたうえで、本町の課題解決に向け、審議会にて協議した結果、方針を決定しています。
16	5	方針2に言及します、こどものスポーツ機会がそんなに不足しているのでしょうか？学齢期のこどもは生活時間の大半を学校で過ごします、そこでは授業を中心に、昼休み、休憩時間、部活等々にそれなりの一定程度の運動(スポーツ)と向き合う時間は確保されているのではないのでしょうか？それとも、ここでは、競技スポーツでの技を磨く機会が少ないということでしょうか？それにしても、4大方針に入らないのでは？と思います。この町で、一番スポーツ参加が少ない、機会に恵まれていないのは、子どもたちではなくて成人男女、つまり働き盛り、年齢的には30～50歳台の方々ではないのでしょうか？ (なんの根拠もありませんが、感覚的にそのように思えます) 従って、「方針2」は、スポーツ機会のことを軸にするならば、私は・・・ 「職場、家庭、地域における成人男女のスポーツ参加機会の拡充」とするべきだと思います。	方針2の内容を、方針3「競技スポーツの振興」に含ませていただき、基本方針を3本の方針とさせていただきます。

番号	該当 ページ	ご意見の内容	教育委員会の考え方(策定委員会の考えかた)
17	6	次に、「方針4」に言及します、私は天から授かった宿命的な環境を「ハンディ、ハンディ」と吹聴することは如何なものか？と思います。何となく腰が引けてるの姿勢に思えてなりません。ここでは、文章を読む限りにおいては、競技スポーツの振興を言いたいのでは？と読み取れました。そこで、方針としては、むしろ「離島のハンディ」ではなくて「競技スポーツにおける競技力向上と指導体制の拡充と支援」くらいが、いいのではないのでしょうか？ 方針1・・・記述文章の内容p6の現状と課題の記述内容が全く不一致で乖離し、一貫性がないのでは？と思います。こうしたことが起こるので、現状分析と課題をしっかりと把握したうえで、方針なり施策なりを立案すべきだ、と指摘させていただいた次第です。 方針3・・・「・・・スポーツ活動の意識やスポーツ実施率を高めて・・・」 「・・・スポーツ活動への参加意識や参加率を高めて・・・」 見出しは「支援」ですが文章の中に「支援」という言葉が見当たりません。体力、技術、技能、興味・目的・・・肝心の「年齢」が欠如？？技術、技能・・・どちらかを削除すべき？	方針3の内容を、方針3「競技スポーツの振興」に含ませていただき、基本方針を3本の方針とさせていただきます。
18	6	1. 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備 現状と課題 ①「住民の中には」・・・こうした書き出しは、不適當だと思いますが？「住民の方々の多くは、」くらいがいいのでは？「住民の方々の多くは、自らの健康保持のために睡眠、食事、栄養、休養等の生活習慣に留意する一方で、体力の低下や運動不足を自覚しながらも実際には運動への取り組みは少ない傾向にあります」 ②「運動やスポーツへの取り組み」・・・運動とスポーツの違いは？ ③31種目 89団体・・・間違いのない数値でしょうか？「約」という表現で足るのでは？こう記述してしまうと、ウォーキング等の体育施設を利用しない方々が除外されている感じになりますか？？どうしてここでの記述を「団体」に拘った書き方にされたのでしょうか？ ④「軽スポーツ団体が少ないため」 軽スポーツというのは、ウォーキング、ラジオ体操、フィットネス等ゲーム性を求めなければ、「団体」にならなくても、家庭等で、個人で充分に取り組めると思います。どうして「団体」に拘るのでしょうか？ ⑤「各種目の人員を減らさない」・・・「各種目の参加者を減らさない」が正しい？	①ご提案いただきました内容を踏まえたうえで、修正させていただきます。 ②「運動」・・・体を動かすこと全般 「スポーツ」・・・運動をすることで、何かしらの競技となるもの ③今回の計画策定にあたりアンケートを実施した結果、スポーツ団体の現状として、31種目89団体ということになります。 ④、⑤ご提案いただきました内容を踏まえたうえで、修正させていただきます。

番号	該当 ページ	ご意見の内容	教育委員会の考え方(策定委員会の考えかた)
19	7	参加者数一覧表……「ヨガ教室」もある？と仄聞しましたが？？ 資料考察 前段3行の文章内容は、資料考察となっていないのでは？？敢えて、「資料考察」を書くのであれば…… ①おおむね競技スポーツであること 健康スポーツが少ないこと ②参加者は、比較的高齢者が多いこと、若年層が少ないこと ③働き盛りの40～50歳代が少ないこと。 等ではないでしょうか？？	総合体育館の各種教室に関しては、記載のとおりです。 資料考察について、ご提案いただきました内容を踏まえたうえで、修正させていただきます。
20	8	総合体育館の活用（「・」の4番目） ①文章の中に「軽スポーツ」に関する記述が欠落しています。 (このままではp6の下段の記述が生かされません) ②もっともっと各種教室等の主催事業に取り組むべきと思いますが？ 競技団体への支援…何故いきなり「競技団体」という表記になるのでしょうか？「スポーツ団体」が正しいと思いますが？？	ご提案いただきました内容を踏まえたうえで、修正させていただきます。
21	8	①1721人の数値 これはおそらくp9の集計数値だと思いますが、p9の数値そのものがアバウト数値でありますから、今後この数値が独り歩きしてはなりませんので、ここでは「約1700人」という数値で足るのでは？？ もう一つ、1721人というと人口の12%に過ぎません、我が町で何らかの形で運動に参加している人が12%？それはp12の表の数値とも乖離した数値です。この数値が一人歩きするのが怖いのです。この数値に、ウォーキングや家庭でラジオ体操している方々が含まれず、体育施設利用者の方々の数値であることに違和感があります。体育施設利用者だけがスポーツ参加者でしょうか？p12の資料を見る限り、60歳以上の方々は約半数、人口に換算して約3000人の方々がスポーツに参加しているという現実があります、その数値を、計画の数値目標設定上、どのように取り扱う考えでしょうか？？	1,721人の数値は、あくまでスポーツ団体にてスポーツ活動をしている人を示した数値であり、個人を含め運動を実施している人を示した数値でないことをご理解いただきたいと思います。 競技者という表記については、「スポーツ参加者」に修正させていただきます。

番号	該当 ページ	ご意見の内容	教育委員会の考え方(策定委員会の考えかた)
22	8	①31種目・89団体の数値 この数値も約30種目 約90団体にすべきだと思います。それと31団体はp9に明記してありますが、後々のために89団体の団体名も明記すべきです。それとこの数値は、あくまでも「体育施設利用者」のみの数値であることを明記すべきだと思います。 ②バスケットボールと言った団体種目……ここでは、そうではなく「競技種目」が正しいのでは？ ③各種目の競技者……「各種目の参加者」が正しいと思います。 ④数値目標の表 表の右肩に凡例として「延人数」と明記すべき、若しくはそれぞれの数値に「延」を加える。	ご提案いただきました内容を踏まえたうえで、一部修正させていただきます。
23	8	この際、全ての「数値目標」の表について言及、提案します。 ①まず第一に、五ヵ年計画の年度別の数値が欠落しています、年度別の数値がなければこの計画書の目玉的事項となっている「毎年度の進捗状況や推進状況の検証作業」が出来ないのでは？承知でしょうか？これは大きな欠陥だと思います。 ②第二に、目標数値についてです。ほとんどが現状と同じ、又は微増の目標となっています。この数値であれば、何も計画策定などやらなくても、年度年度の行き当たりばつたりの事業で、充分達成出来るのでは？と思います。計画策定の意義はどうなるのでしょうか？今のままでは良くない、ダメだ、現状を打破して、もっともっと高い目標を目指そう…そうした崇高な理念があったはずですが…。 ③第三に、数値目標の掲げ方です。このあと何ヵ所かで数値目標の表が出てきますが、この際、数値目標の表を一箇所にもまとめて掲載して、その部分を…「第〇章 数値目標」とすることを提案します。その方がより理解し易い計画書の内容になるような気がします。 (蛇足ですが…) このページから突然のごとく「競技者」という言葉が出てきましたが、「スポーツイコール競技」のイメージがあって、違和感があります。計画策定に携わっている方の中に、「競技」にこだわっている方がいらっしゃるからでしょうか？何となく偏った不自然さを感じる記述内容と思えました。	①数値目標の目標値(令和7年度)は、現状のままとします。 進捗状況の把握は審議会の中で、毎年度実施します。 ②表の下部に示させていただきましたとおり、目標値は利用者数の増を掲げることが望ましいですが、本町の少子高齢化によって人口減少の現状を勘案して、現状維持もしくは、微減の目標値とさせていただきます。 ③現状のままとします。 「競技」「競技者」の表記については、修正させていただきます。

番号	該当 ページ	ご意見の内容	教育委員会の考え方(策定委員会の考えかた)
24	7	総合体育館参加者数の種目別参加者をさらに年代別利用人数や利用者の居住等、資料を詳細に分析することで実態が見えてくることがある。考察に、高齢者のスポーツを行える環境は整っているとあるが、参加者の年代別利用数で高齢者が少なかったり、旧西郷地区に偏ったりしていれば、高齢者にとって、スポーツが行える環境が整っているとは言い難い。この分析は方針3の現状と課題に関わってくる。 高齢者ほど移動手段が少なく、地元で気軽に楽しくできるスポーツが必要。その為には、大きな施設より、地域に働きかけ、小さな集まり(サロン、老人会、婦人会、もつといえぱやってみたいと思っている人等)に軽スポーツや指導者の紹介等を保健課や社協と連携し、積極的に支援することが重要。ここで、公民館の分館長やスポーツ推進委員の方の活躍も期待したい。	総合体育館に更なる分析をおこなった結果、総合体育館の教室については旧西郷地区がメインであり、全地区の高齢者がスポーツを行える環境とは言い難いものでした。五箇地区、都万地区では公民館のそばに体育施設等があるため、施設の利用促進(高齢者の参加事業)ができるように、分館長やスポーツ推進委員と連携しながら前向きに取り組んでいきます。
25	9	「競技種目」「競技者数」競いあうスポーツの推進計画ではないのでは？ 「競技」という言葉を使うと「幅広い年齢の誰でも」にならないような気がします。	「競技」については、本町のスポーツ参加団体の状況を示したものであるため、 「競技種目」⇒「スポーツ参加種目」 「競技者数」⇒「スポーツ参加者数」に改めさせていただきます。
26	9	①競技種目……「スポーツ種目」が正しいのでは？	「スポーツ参加種目」に修正させていただきます。
27	9	②競技者数……「参加者数」が正しいのでは？	「スポーツ参加者数」に修正させていただきます。
28	9	③1,721人…目標数値は参加者の絶対値ではなく、総人口に対する参加率を基準にすることで、人口減少等の変化を加味しない、リーズナブルな目標になると思います。 留意してほしいことは、前述もしたが…このまま1721人を基礎数値にすると、これは体育施設利用者に限定した数値をベースにすることになります。が、それでいいのでしょうか？ 折角の計画が、そして目標数値が、歪なものになってしまうのでは？ 何の為にp12の数値がありますか？	スポーツ参加者の増を目指すものですので、現状のままとします。 「競技者数」の表記については、修正させていただきます。

番号	該当 ページ	ご意見の内容	教育委員会の考え方(策定委員会の考えかた)
29	9	④参考数値……「参考資料」が正しいです …出典はどこなのか分かりませんが、もう少し正確な数値を把握すべきと思います。参考数値といいながら、数値目標の基礎になる数値ですから。例えば水泳の248人、私もその中の一人ですが、この数字は、スポーツジムの参加者を含むのか？どうか？含むか否かに拘らず、どちらにしても、「スポーツジム」を別のスポーツ種目として加えた上で、参加者の数値も明確にする必要があると思います。又、私が参加するグラウンドゴルフの37人はおそらくグラウンドゴルフ協会の会員数ではないかと推測しますが、私が所属する退職者連盟だけで31人、そのほかに大久、布施、中村、五箇、都万、にそれぞれ愛好者がおられますから総勢70人を超えると思いますが？？いずれにしても1721人と31種目は再調査の必要があると思いますが…。	「参考数値」を「参考資料」に修正させていただきます。 本町の体育施設利用団体を対象にアンケートを実施した結果、集計した数値となりますので、ご理解いただきたいと思います。
30	9	⑥表の右側の項目欄が空白になっています(記載漏れ)。	ご提案いただきましたとおり、修正させていただきます。
31	9	⑦令和元年度……「参加者数」が正しいのでは？「令和元年度」の文字は、表の右肩に書くべきです。	ご提案いただきましたとおり、修正させていただきます。
32	9	⑧参加者数の合計数値が欠落しています。	合計数値を記載します。
33	9	⑨スポーツ種目の整理…この表は、スポーツ種目を、極めて適当に羅列していますが、折角ですから球技とか、軽スポーツとか 野球とか テニスとか武道とか、屋内とか屋外とか、一定の分類をされた上で、種目の記載順序を整理して表記すべきではないでしょうか？	現状のままとします。
34	9	89のスポーツ団体…この団体の一覧表も参考資料として掲載すべきです	現状のままとします。

番号	該当 ページ	ご意見の内容	教育委員会の考え方(策定委員会の考えかた)
35	9	⑪「スポーツ種目」の目標値について 様々な要望に対応していくためには、いろいろな種目のスポーツを導入してその普及に努めることは大賛成ですが、だからといってその種目に参加者が集まってくれることが、そんなに必要なことでしょうか？私は数値目標の項目として取上げる必要はない、と思います。今の30種目程度で十分ではないでしょうか？現に、今まで導入した多くのニュースポーツと言われる種目は、全部が全部、そんなに定着普及していないと思います。それよりは、この表に含まれない体育施設以外で展開されるウォーキング等の様々なスポーツ参加者の数値を把握して、その数値の目標値を掲げることの方が、計画書の理念に叶っていると思います。	「スポーツ」と「運動」の定義として、生涯スポーツを推進していくうえで、このページについては、スポーツ種目およびスポーツ参加者数の増を目標値として掲げることが望ましいと考えます。
36	10	校区の学校に本人がやりたいスポーツの部活動がないことへの課題 学校体育と社会体育の連携 部活動の変革の時 隠岐の島町の部活動における今後の課題	部活動の変革等、学校体育から社会体育への移行について、国の方針及び動向を的確にとらえ、国、県の動きに迅速に対応できるようにします。
37	10	2. 学校や地域におけるこどものスポーツ機会の充実 ①学齢期のこどものスポーツ機会について 私は、学齢期の子ども達のスポーツ機会は、ここで取り上げるほど不足していない、充実していない、とは思えません。従って、この項目を4方針の一つにすることに疑問があります。このことは前述しました(p4)ので、ここでは述べませんが、本当に充実していない、不足している、ということであれば具体的数値を掲げて・・・例えば運動能力等の数値が県平均に比べてかなり劣っているとか、何か具体的な数値を示して・・論証すべきではないでしょうか？「現状と課題」をいくら読んでも、足りないとか、少ないとかという現状がつかめないし、何が課題かも明確になっていません。むしろ「競技者」という言葉に表徴されるように、競技スポーツの分野のみに、色々な課題があるように読み取れます。もうひとつ、気がかりなことがあります。この計画では、高校生は「こども」の範疇に含まれるのでしょうか？私は「学齢期」として高校生を含むべきと思います。	2.学校や地域におけるこどものスポーツ機会の充実 この項目は、「方針3 競技スポーツの振興」として記載させていただきます。
38	10	2. 学校や地域におけるこどものスポーツ機会の充実 ・現状と課題の3つ段落のうち、最初の二つの段落の文章内容について なんとなく、競技スポーツの視点で記述しているように感じられます。表題は「機会の充実」ですが、その視点での記述が欠如しているように思えてなりません。	2.学校や地域におけるこどものスポーツ機会の充実 この項目は、「方針3 競技スポーツの振興」として記載させていただきます。

番号	該当 ページ	ご意見の内容	教育委員会の考え方(策定委員会の考えかた)
39	10	③スポーツ推進委員に関する記述について(段落の3番目) この記述は、方針2のみならず、4つの方針全てに該当する項目だと思えます。全ての方針の「現状と課題」欄に記述すべきだと思います。敢えて一つの方針のみに記載するのであれば、方針1若しくは方針3が相応しいと思いますが??	方針2 健康で活力に満ちた長寿社会、ライフステージに応じた支援 方針3 競技スポーツの振興に記載させていただきます。
40	11	小学生のスポーツチームへの加入率が令和元年度67%と高いのに驚いている。小学生の半数以上が何らかのスポーツチームに加入していることになる。実勢はどうか疑問である。身近にスポーツがあり、生涯、健康で明るく過ごすためには、子どものころからの体験が大きく左右すると考える。子どもは本来体を動かすことが好きなはずである。 学校でのスポーツ行事はここ40年ぐらいで半減している。 以前は、全隠岐陸上、通信、体操、水泳、ソフトボール(PTA)、バスケ、小体連陸上、主催は地域であるが卓球、相撲、柔道、剣道など。 子どもたちは好むと好まざるとにかかわらず、これらの多様なスポーツを体験して育ってきた。この経験が大人になって活かされ、自分の好きなスポーツに取り組んだり、自分の健康のために適したスポーツを選択したりするきっかけになると思う。 半数となった原因 ・学校の小規模化、少人数化(チームが組めない。試合ができない) ・学校現場の忙しさ(学習内容の増加、情報教育、国際教育等) ・子どもの生活環境の変化(ゲーム、スマホ) 施策として 地域スポーツの加入者を増やすとあるが、ぜひ、多くの子どもたちが学齢期にスポーツに親しみ、体験する機会を増やすために、もう一步踏み込んだ対策を考えてほしい。 隠岐の島町の子どもたちがやりたいスポーツを提供するために何を、どこで、誰が、どのような交通手段ですることができるか、施策にあるように学校、クラブ、体育連盟等と連携を図って実現してほしい。	多くの子どもたちが学齢期にスポーツに取り組める、環境と機会の充実を図るように検討していきます。 また、学校体育と社会体育が連携(情報交換)をしながら、子どもたちの運動機会の創出を図っていきます。

番号	該当 ページ	ご意見の内容	教育委員会の考え方(策定委員会の考えかた)
41	11	具体的施策 ①伝統スポーツについて この施策は、「こども」に限定すべきではなく、これを施策として掲げるなら方針1もしくは、方針3ではないでしょうか？それから伝統スポーツを守るとは大切な事だと思いますが、それは、スポーツとしてではなく、むしろ伝統文化や伝統習俗として取扱う世界ではないでしょうか？従って、ここで施策に掲げる必要があるのか？疑問に思いました。 相撲が町内全地域で盛んとは思いません。特定の地域ではないでしょうか…多くの場合、盛んなのは、大会参加に向けた短期間だけだと思います。また、相撲のほかに、伝統スポーツと言われるものは何があるでしょうか？布施のテニス？中村の陸上？都万のバスケ？西郷のヨット？中条のバレー？五箇の寒稽古？伝統スポーツに名を借りて、こうして具体的に土俵整備の補助金まで記述されると……穿った見方をすると、なんとなく相撲に限定した、相撲関係者に忖度するような書きぶりに見えて…？？そうじゃないことを祈ります。施策の段階で、土俵の補助金と、具体的事業を記述することの異常さ、不自然さに、まず草案者が敏感に気付くべきです。どうしても「相撲」有りき、相撲に拘泥するなら、あっさり「伝統スポーツ」ではなく、「相撲」と書き換えていいのではないのでしょうか？	ご提案いただきました内容について、①伝統的スポーツについては、具体的施策より削除いたします。
42	11	②スポーツ推進委員の活用 方針2に限らず、全ての方針に記述すべきです。	ご提案いただきました内容を踏まえたうえで、修正させていただきます。

番号	該当 ページ	ご意見の内容	教育委員会の考え方(策定委員会の考えかた)
43	11	③数値目標 加入率67%は低いということでしょうか？私は充分だと思います、従って(あたかも児童の70%が加入しているような錯覚に陥る数値です)この項目を数値目標に掲げる必要性はないと思います。 加入率は「のべ人数」とありますが、分子分母がわかりません。多分、分母は総児童数でしょうが、分子は何の延べ参加者数でしょうか？それよりも全小学生の現在の加入率を調査して、それをもとに7年度の数値を決めるべきだと思います。延人数というのは週一回とか月4回とか、いろいろな参加形態がありますから、こうした高い数値が出るのであって、数値目標にする意義が、かなり薄れると思います。 第2番目第3番目の、体験会とか、補助金とか、これは事業です。ここは、施策を記述する場所であって、事業計画ではありませんので、数値目標の項目に掲げることは不適当です 2番目と4番目を統合して下記のようにすることを提言します・ スポーツ推進委員の指導(活動)回数 元年度 一人当たり年7回以上?? 又は推進委員1人当たり年1回 7年度 各学校年2回以上、がいいと思います。 又は推進委員1人当たり年6回 3番目の伝統スポーツ補助金 これは明らかに事業ですので、ここに掲げるアイテムになりません。伝統スポーツの定義も定まらない次元で、軽々に記述することではないと思いますが??どうしても相撲に支援したい??のですか??(草案者の「もっと頭を冷やして冷静沈着な草案」を熱望します	ご提案いただきました内容を踏まえうえて、修正させていただきます。
44	15	具体的施策に追加 遠征ばかりでなく、「ごさんせCUP」や「隠岐少年武道大会」など島内での少年少女の大会実施によるスポーツ交流の推進	現状のままとします。
45		目指すのは、競技か誰もが参加できるスポーツ環境か？ 離島ハンデの克服は、子どもたちが本土と遜色ないスポーツ活動を行うためか、トップアスリートを育てる為か？	社会体育の推進をおこなううえで、必要となってくる競技力、スポーツ環境の整備双方が必要と考えています。 離島ハンデの克服についても、双方必要となると考えます。

番号	該当 ページ	ご意見の内容	教育委員会の考え方(策定委員会の考えかた)
46	13	3. 健康で活力に満ちた長寿社会、ライフステージに応じた支援 ①幼児体育指導・・・「幼児の体育指導」または「幼児体育の指導」 ②幼児体育とは・・・「幼児体育は」 ③健全な運動育成・・・「運動育成」とは？どう言う意味でしょうか？ ④幼児体育・・・幼児の場合は「スポーツ」ではなく「体育」を使うのが通常の使い方でしょうか？ ⑤不足していると思われる「言葉」etc 本町の平均寿命、生涯スポーツ、後期高齢者、等々の言葉を用いながら文章作成しないと、課題設定に関するインパクトが足りないと思います。	①「幼児体育の指導」に修正させていただきます。 ②「幼児体育は」に修正させていただきます。 ③「健全な身体育成」に修正させていただきます。 ④現状のままとします。 ⑤ご提案いただきました内容を踏まえたうえで、修正させていただきます。
47	13	数値目標 ①数件・・・数値目標なのに、この表現は不適當です。現在は数件じゃなくて実数があるはずで、5年後は「各保育施設で年間2回以上」のような目標を設定すべきです。 ②70歳代・・・人生80年時代です、「70歳以上」とするか、「80歳以上」の欄を設けるべきではないでしょうか？5年後には、おそらく80歳以上だけで人口の30%を占めるのではないのでしょうか？ ③体裁・・・「年齢層」が正しい？？そして表の右端ではなく、真ん中あたりに。	①ご提案いただきました内容を踏まえたうえで、修正させていただきます。 ②現状のままとします。 ③ご提案いただきましたとおり、修正させていただきます。

番号	該当 ページ	ご意見の内容	教育委員会の考え方(策定委員会の考えかた)
48	14	4. 離島のハンディを克服する支援 前述した通り 方針4のネーミング(名称)は「競技スポーツにおける競技力向上と指導体制の拡充と支援」くらいがいいと思います。遠征費負担の視点に立てば、本土の方々でも県外遠征が日常化する環境ですから、程度の差はあれ、同じ環境ではないでしょうか？それと、離島のハンディというのは、競技スポーツの分野について顕著だといえると思いますが、健康スポーツの分野では、明示するほどのハンディがあるとは思えません。本土の山間地に比べればむしろ恵まれていると思います。 ですから、方針の名称は・・競技スポーツに限定した表現にすることが理に叶っていると思います ①「現状と課題」……記述内容が少ないです。これほどしか書くことがないんですか？中学総体や高校総体の成績とか、競技力が劣っている現状や、指導体制が不足している現状、それらのうち、離島という宿命に起因する部分は何か？等々、離島であるがゆえのハンディについて、多くの課題について、もっともっと記述すべきことがあるんじゃないでしょうか？例えば高校生のスポーツ活動の課題とか。 ②「遠征及び大会に係る」……「遠征及び大会参加等に係る」が正しい ③「スポーツでプロを目指す」……この記述が必要でしょうか？正しいでしょうか？この計画の中で、「プロ」を課題にする必要がどこにあるでしょうか？	方針4 離島のハンディを克服する支援については、 方針3に統合し「競技スポーツの振興」とします。 具体的施策についてもご提案いただきました内容を踏まえたうえで、修正させていただきます。
49	13	幼児体育研修会の実施について、現状「数件」はないのでは？データの根拠に基づく目標では？ 健康増進計画との整合がとれるか？この目標設定について保健課と協議済み？	目標値は、データをもとに適正な数値で示します。 健康増進計画の主管課である保健課とは協議済みです。

番号	該当 ページ	ご意見の内容	教育委員会の考え方(策定委員会の考えかた)
50	15	○の1 (小中学生) ①島外のこども達と同じように…(削除すべき、と) 島外の子ども達は県外遠征が日常化しており、環境は大差無いと思います。 ②「…活動に制限がかかる…」 正しい表現ではないと思います。制限がかかるはずがありません。「…を含めた島外遠征に関する費用負担の軽減化のための支援を行います」	ご提案いただきました内容を踏まえたうえで、修正させていただきます。
51	15	○の2 (全国大会) ①全国大会国民体育大会…「等」が欠落?? 中四国大会や西日本大会等は含まれない、と解するべきか? ②「年々…選手がいます」…国語的に不適合だと思います?? 年々増えてると、言いたいのか?それとも単に「いる」ことが言いたいのか?私は、年々を削除して、増えつつあります とすればいいと思います。 ③レベル向上…「競技力向上」がいいと思いますが? ④指導者の負担軽減を図るため…「指導者の経費負担の軽減化を図るため」	ご提案いただきましたとおり、「全国大会、国民体育大会等に出場する選手の支援」に修正させていただきます。 ②、③、④については、ご提案いただきました内容を踏まえたうえで、修正させていただきます。
52	15	数値目標(表) ①欄外※の文章 「実現可能な目標数値」とはどういう意味でしょうか?? 予算的に高望みができない?? 島外に出たり全国大会に出る人が、そんなには増えない?? 計画書作成の段階で「実現可能な」という言葉を用いること、それは目標を定めて高い理想に向かおうとする「計画のさくていの崇高な意義」に反することであると、草案者は、それに気づいているでしょうか? ②島外遠征費補助実績数…「島外遠征等支援件数」が正しいと思います。 ③(中学校部活利用含む)…書きすることの意味が掴めません。この制度は学齢期のこども全てに対応していない制度ですか? 高校生は除外ですか?	ご提案いただきました内容を踏まえたうえで、修正させていただきます。 ②ご提案いただきました内容のとおり、修正させていただきます。 ③「学齢期」…小学校1年生～中学校3年生まで この制度は隠岐の島町内の小.中学生を対象としています。

番号	該当 ページ	ご意見の内容	教育委員会の考え方(策定委員会の考えかた)
53	15	④全国大会出場者団体数……「全国大会出場等支援件数」が正しいと思います。(敢えて「団体」と限定した意図が解りません。) それよりも、この分野は出場権を獲得した上で成り立つ案件であって我が町で計画出来ることではありません、従って数値目標に馴染まない項目じゃないでしょうか？ 出場権を獲得すれば当然支援するわけですから。数値目標化する必要がありません、目標化に馴染まないです。 ⑤年数回……数値目標なのに、「数回」は違和感があります、具体的数値を明示することこそが数値目標の設定意義だと思いますが?? 全体的に、「具体的施策」の記述内容と「数値目標」の内容が乖離しているように感じます。この程度の数値目標なら、あえて目標設定する意義が薄いと思います。この程度の数値目標であれば、計画策定の4大方針の一つに掲げる事、それ自体が無意味に思えるのですが・・計画に搭載しなくても実現する数値ではないのでしょうか？	④、⑤ご提案いただきました内容を踏まえたうえで、修正させていただきます。
54	16	①体系図……「推進体系図」が正しいと思いますが??	生涯スポーツ推進計画体系図と修正させていただきます。
55	16	②実働 この意味が理解できません？ 誰が働く??	「取り組み」と修正させていただきます。
56	16	③事業展開……この計画書の中には「事業」のことはなにひとつ明示してありませんので(例示のみ)、事業展開という表現は違和感が残ります。	「取り組み」と修正させていただきます。
57	16	④実施主体……この計画書には、具体的事業のことも実施主体のことも一切明記されていないのに、どうしてここで突然この言葉がでてくるか？ 不思議に思います。これらは「事業計画書」の中で明示される事項ではないのでしょうか?? 数値目標も「事業」ではなく「施策」に関する数値のはずです。	「関係機関」と修正させていただきます。
58	16	⑤検証・検討……その対象となるのは、「事業」ではなく、あくまでも「14項目の施策」じゃないでしょうか？	ご提案いただきました内容を踏まえたうえで、修正させていただきます

番号	該当 ページ	ご意見の内容	教育委員会の考え方(策定委員会の考えかた)
59	16	⑥スポーツ推進審議会 審議会のミッションは「諮問」に対する「審議」であり、文中にある「諸施策の検討」とかは出来ないと思います。全て教育長の諮問が前提ではないでしょうか？（「諮問」という言葉が欠落していると思いますが？）	ご提案いただきました内容を踏まえたうえで、修正させていただきます
60	16	⑦検証・検討の主体 審議会を掲げるのは間違っていると思います。審議会は教育長の諮問に基づいて、高所大所から、スポーツ行政のあるべき姿、指導体制のあるべき姿、施設のあるべき姿等に関して審議して答申するための機関です。従って、審議会は検証作業ではなくて、検証結果について審議し、意見を述べる機関ではないでしょうか？検証作業は事務局の補助のもとに、計画推進の牽引者たるスポーツ推進委員こそがその主体になるべきと思いますが？どうでしょうか？それと、民間人を加えた検証会議等を設置すれば、なお充実した検証になると思います。	隠岐の島町スポーツ推進審議会の役割について 1.推進計画の進捗状況の把握 2.スポーツ推進に関する提言 とさせていただきます。
61	17	①名簿……審議会委員と、この計画書の関わりがわかりません。（ここになぜ、審議会名簿が掲載されるか、意味が解りません）むしろ、計画策定に関わった策定委員(委員会?)の名簿が欠落しています	名簿については、削除させていただきます。